



進路だより 第3号

ジャイロコンパス

宇都宮市立晃陽中学校

R4.6.7 発行

文責：秋場拓也

【ミライコンパスID登録および私立高校一日体験学習について】

私立高校に関しては、「ミライコンパス」という私立高校を中心とした受験生の受験・入試をサポートするサービスを通じて、申し込みを行います。「ミライコンパス (miraicompass)」に登録をすると、一日体験学習や入試相談会などのイベント予約や、11月から始まるインターネット出願、受験料の支払いなどができます。まだ、ユーザーID登録が済んでない3年生はお早めに登録をお願いします。なお、登録したアカウント情報は毎年度ごとで失効となります。中学2、3年生の保護者の方で昨年度登録した方も、今年度あらためて登録作業を行うこととなります。ご注意ください。

3年生に関しては、「私立高校一日体験学習参加申込確認書」の提出が6月30日までとなっております。参加希望の有無に関わらず、手続きが済み次第、各担任へご提出ください。

また、各校の一日体験実施要項をよく読み、持ち物、駐車場、日程等を把握したうえでご参加ください。

例 作新学院

一日体験実施日 □7/29(金)午後 12:00～ □7/30(土)午前 8:00～・午後 12:00～ □7/31(日)午前 8:00～・午後 12:00～

一日体験内容 受付 全体説明 各部説明 自由見学 駐車場 駐車場は台数に限り有

持参するもの □受付票 □上履き □筆記用具 □雨具 □マスク(着用)

※受付票を各自プリントアウトし、参加当日の体温を記入の上持参



【先輩たちが一日体験学習で分かったこと・感じたこと】

毎年、一日体験学習の報告書を自分の記録として記入します。先輩たちの「行って分かったこと」を中心に、一部を紹介します。参考にしてください。

＜栃木県立宇都宮白楊高等学校＞

- (情報科学科)就職先が工業とIT系が多く、進学先は専門学校が多いことが分かった。様々な勉強をまんべんなくできることも分かった。全体的に生徒全員が優しかった。栃木県唯一の馬術部があった。
- (服飾デザイン科)3年間で服の作り方やデザイン以外にも、普通の授業も行う。ファッション業界に関するパソコン技術なども学ぶ。

＜栃木県立宇都宮工業高等学校＞

- 就職や進学の割合等を知りたかった。就職に進む人が多く、学科で学んだことを生かせる。会社に就職する人が多い。また進学したい人向けに、数理の時間を増やした時間割があったりする。校舎は全体的に新しい印象を受けた。なんだかすごい機械が多くあった。
- 在校生が生き生きと活動していた。真面目に課題に取り組んでいた。また自分で図面を引き、デザインを考える姿に、創造力があるなと思った。



＜栃木県立宇都宮商業高等学校＞

- 情報処理科は商業科に比べて、パソコンを多く使うなど、商業科と情報処理科の違いが分かった。また、商業高校ならではの部活動がたくさんあることも分かった。

＜栃木県立鹿沼高等学校＞

- 「急激な社会変化に的確に対応できる人材を育てる」ために、学校行事や様々な活動が設けられており、生徒同士で切磋琢磨し合えることが良いと思った。
- 積極的に物事に取り組んでいる人が多かった。(自分が)受験生の頃のことを話してくれた。とても分かりやすかった。1年生の頃からこの高校に行きたいと思っていた。実際に中も見てみて雰囲気などとても良かった。

＜栃木県立栃木農業高等学校＞

- (食品科学科)見学では、パンを作ったり、ジャムを作ったりしていた。優しい在校生が、実験をやらせてくれた。自分の入りたい部活動もあり、楽しく過ごせそうだった。

＜宇都宮短期大学附属高等学校＞

- 様々な学科があった。更に、普通科には特別選抜コースや応用文理コースなど生徒一人一人の進路状況に合ったコースが作られていて生徒のことをしっかりと考えている学校だなと思った。
- 学校に入った時の在校生の挨拶がとても大きく揃っていて、驚いた。一人ひとりが高校生としての自覚を持っていると感じた。校舎だけではなく、会館や自動販売機、コンビニもあった。まさかコンビニがあるとは。



○部活動の種類も多いし、部活動紹介の時に在校生が面白く紹介してくれて、いろんな部活動に興味を持てた。
また、どの部活動も勝利のことだけを考えているのではなく、仲間同士で楽しくやることも考えていて、とてもいい雰囲気だと思った。

○この高校見学に参加したことで、自分の宇短附での高校生活を想像することができた。しかし模擬授業を受けた感じでは、授業についていけるかどうか不安も感じた。

《作新学院高等学校》

○様々な分野の学科があり、施設や設備も整っているので、大勢の在校生一人一人が自分のやりたいことや目標に向かって努力できる環境が整っていることがいいなと感じた。

○授業では、詳しい説明と面白い授業が展開されていた。また部活動は生徒一人一人が積極的に活動していた。

《宇都宮文星女子高等学校》

○総合進学コースと部活動の両立について知りたかった。自分が入りたいと思っていた部活動の先輩も総合進学コースで、部活動と勉強を両立できることが分かった。

『なぜ僕らは働くのか 君が幸せになるために考えてほしい大切なこと』より

『なぜ僕らは働くのか』という本があります。目にしたことがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。この本の監修は、池上彰さんです。池上さんの話は、テレビで見たり聞いたりするだけではなく、道德の教科書に載っていたり、国語の教科書に載っていたりと、大人の私たちだけではなく、子供たちにもなじみ深いです。この本の発行は学研、値段は1,500円(+税)です。とても読みやすいです。すぐに読み終わります。

ページを開くと、主人公の中学2年生、隼人（ハヤト）君を主人公に、柔らかな色遣いのタッチで描かれたマンガの部分と、ハヤトの叔母がデザインしたという設定の、「働くこと」について豊富なイラストとともにわかりやすく書かれたページが交互に現れます。ハヤトは東京の進学校に入学しましたが不登校になり、母親の実家がある広島へ引っ越した、という設定です。



目次より ※途中省略

第1章 仕事ってなんだ？

1-1 仕事は誰かの役に立つこと

第2章 どうやって働く？どうやって生きる？

2-1 人生でかかるお金はどれくらい？

2-3 世の中にはいろいろな働き方がある

第3章 好きを仕事に？仕事を好きに？

第3話 なりたい職業ってないとダメ？

3-1 「好き」なことから仕事を見つける

3-3 やりたい仕事の見つけ方

「はじめに」より

池上彰

この本は、将来の働き方について中学生や高校生に考えてもらおうと願って作られました。この本を読めばわかりますが、本を一冊作るのにも多くの人が携わっています。この本を作るにあたって、私たちスタッフは自分の子どものころのことを思い出していました。将来どんな職業に就きたいのか、希望や不安を持っていたことを。

そんな昔の自分に対して、「不安にならなくても大丈夫だよ。まずは世の中がどんな仕組みになっているのかを知っておこう。それからじっくりと考えたり、いろんな体験を試みたりすれば、きっと自分の仕事が見つかるさ」と語りかけながら完成させたのが、この本なのです。

「あとがき」より

編集部

この本は「働く」を切り口に、子供たちにとってこれから待ち構える人生のいろいろなことを予習できます。読んでいくと「大人だってわからないことだらけだし、いろいろ悩みながら生きているんだ」というのがわかってもらえるでしょう。(中略)「働く」は、多くの人にとって大事なテーマであり、ずっと続く関心事です。だから、いろいろな年代の人にとって、学びや気づきがある内容を盛り込みました。(中略) 社会に出てしばらく経ち、自分の仕事や生き方に悩みや迷いが生じたときにも、この本を読み返してほしいと思います。そのときには、日々の忙しさのせいで忘れていた大事なことを、この本が思い出させてくれるはずです。新しい道へ進む推進力を与えてくれるかもしれません。



ラーメンを例に「一つのものはいろいろな人の仕事でできている」ことを紹介しているページです。